

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 189 2014.7.27 連絡先 402-1622 >

緊急時には積極的に情報収集を 防災行政無線の故障について

7月19日に発生した落雷により、市役所の防災行政無線基地局の無線送受信装置が故障しました。四ヶ郷、中之島などの沿岸部のアナログ局からの放送ができなくなっています（小学校設置分は除く）。復旧のめどは立っていません。緊急時には、各種メールや防災情報電話、広報車の利用なども行う予定です。《危機管理局》くわしくは自治会で回覧されますのでご覧ください。

紛争地の現実を直視し、 武力行使で「失うもの」 の大きさを考慮した議論 を求めます

日本国際ボランティアセンター（JVC）が6月10日発表した、集団的自衛権など海外での武力行使をめぐる議論に対する提言をご紹介します。

提 言

JVCが、アフガニスタン、スーダン、南スーダン、イラク、ソマリアなどの紛争

地の活動現場で見てきたことは、外国軍による武力行使や軍事に頼る『国際貢献』が、自国民を守る上でも、国際紛争を解決する上でも、十分な効果を発揮しえない現実であり、軍の介入に伴う深刻なリスクでした。

日本政府は、武力行使もいとわぬ『国際貢献』を目指していますが、政府の議論に欠けているのは『失うもの』の大きさに対する認識です。これまで日本は、自衛隊を含めて非軍事に徹した国際平和協力を行ってきました。これは他国にできない日本の独自性であり、これにより日本が国際的な信頼を獲得してきたことは、まぎれもない事実です。

いま必要なのは、国際社会におけるこの日本の資産を真の意味で『積極的』に国際平和協力に活用することです。『NGOを守るため』という非現実的な理由で、第2次世界大戦以降およそ70年間をかけて築き上げてきた資産や信頼を決して失ってはならないのです。

紛争地の現実を直視し、武力行使で『失うもの』の大きさを考慮した議論を求めます。

みち子のひとりごと 10数年ぶり

バイク（原付）に乗る機会がありました。かつては駅までの片道30分、2年間ほど毎日乗っていた時期もあったのですが、10年も乗らないとなかなか感覚が戻りません。まず、エンジンのかけ方を忘れていましたし、スピードも出せず、もたもたと走っているのが自分でもわかりません。それでも走りながら以前のことを思い出していました。雨の日も風の日も、雪の日も：そうだ、残っていた雪にハンドルをとられた右に左に蛇行した上転んだこともあった、パンクして真冬に汗だくになっただけ、その次の日もまたパンクして二日続きの災難に店員さんが気の毒がってまけてくれたこともあった。風を切って走る気持ちよさも思い出しました。また機会があれば乗りたいです。もちろん、運転には十二分に気をつけて。



こんにちは加藤なおとです



中東ガザ地区にイスラエル地上軍が
侵攻、市民が攻撃的とされていると
いう。赤旗が日本国際ボランティアセン
ター（JVC）の今野泰三パレスチナ
現地代表のレポートを載せた。「17
0万人の住むガザ地区は巨大な監獄と
化した。エジプトと
の国境を閉鎖され水
道水、食料、医薬品
が枯渇し栄養失調を
きたしている。4分
に1回の空爆と艦砲
射撃で死者数百人の
8割が民間人、その半数が子ども、女
性だ。イスラエルは国連で自衛権行
使して何が悪いかと発言
一方的圧力的な軍事力で虐殺するこ
んな戦争を今すぐ直ちに国際社会、日
本は何がなんでもイスラエルを止めな
いと。動かないアメリカに何も言わな
い日本政府。ガザ支援の最前線でJVC
が行ってきた子育てに欠かせない母
親への栄養指導の積み上げなどすべて
が一瞬で吹き飛んでしまったのだ。自
衛隊を派遣することしか頭に無い日本
政府が恥ずかしい。

暴力の連鎖が止まらない パレスチナ問題 Q & A

イスラエルはなぜガザを攻撃するの？

今回の直接のきっかけは6月末、パレスチナ自治区でユダヤ人少年3人が誘拐され、その後遺体で発見された事件。イスラエルはハマスの犯行と断定し、容疑者の大量拘束など強硬措置を開始。一方イスラエルの少年が報復として誘拐殺害される事件が発生。パレスチナ住民の怒りが高まる中、ハマスはイスラエルに向けてロケット弾を多数発射。イスラエルはこの攻撃への自衛と称して、ガザへの空爆、地上侵攻を行なっている。

ハマスってどういう組織？

イスラム主義に基づいてイスラエルからのパレスチナ解放をめざし、1987年から武装闘争を開始。草の根の慈善事業などを通じて貧困層を中心に支持を集めるが、イスラエル国内での民間人を標的にした自爆テロなどを多発させたため、米国などからはテロ組織と指定されている。07年からガザ地区を単独支配していたが、今年6月、パレスチナ解放機構（PLO）主流派のファタハと和解し、統一政権の発足で合意。

中東和平はどうなっているの？

パレスチナ問題の解決は、イスラエルのパレスチナ占領地からの完全撤退と、パレスチナ人民の独立国家樹立を含む民族自決権の実現、パレスチナ、イスラエル双方が互いの生存権を認めて共存していくことにある。国連総会でも2012年末、パレスチナを「国家」と認める決議を圧倒的多数で採択している。しかし、イスラエルによる国際法違反の入植地拡大が、パレスチナ国家への最大の障害となっている。

出発式のおしらせ

中津たかし出発式

8月3日（日）

午前9：00～

公園前バス停付近

中村あさと出発式

8月3日（日）

午前8：45～

事務所（湊御殿）前